

赤十字防災セミナー



災害から、あなたと周囲の人々のいのちを守るように、
「赤十字防災セミナー」に参加してみませんか？

【対 象】町内会・自治会から小学校区程度までを範囲とし、原則として地域住民の方

【会 場】地域のコミュニティセンター、公民館、学校教室、体育館など

【内 容】以下カリキュラムを、自由を選択して組み合わせることが可能です。

- 災害への備え
- 家具安全対策ゲーム（KAG）
- 災害エスノグラフィー
- 災害派遣にかかる活動紹介
- 非常持出し品シミュレーション
- ひなんじょ たいけん
- 災害図上訓練（DIG）

詳細は裏面をご覧ください。

「自助」と「共助」の力を高め、人々のいのちを守りたい

私たちは、赤十字防災セミナーを通じて、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることで、地域の住民の方々が自ら、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目指します。



Q 日本赤十字社がなぜ地域住民の防災教育を？

A これまで私たちは、長年にわたり救護活動の経験を蓄積してきました。各自治体が実施する防災対策と連携しながら、赤十字のノウハウを活用して、全国に約30万近く存在する地縁団体（自治会、町内会）のレベルから、地域の「自助」と「共助」の力をさらに高められるようサポートします。



【カリキュラム一覧】

1 災害への備え（約60分）

災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など、災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。

2 非常持出し品シミュレーション（約30分）

避難所へ持っていく非常持出し品について、グループワークを通じて考え、日ごろの準備につなげる。

3 家具安全対策ゲーム（KAG）（約30分）

自宅部屋の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や危険な場所を把握し、家具の安全対策の必要性を理解する。

4 ひなんじょ たいけん（約90分）

避難所運営のカードゲームを通じて、大地震後の避難所生活の一部を体験し、「避難者の目線で心がける要点」を理解する。

5 災害エスノグラフィー（約100分）

大規模災害における被災者の体験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。

6 災害図上訓練（DIG）（約120分）

地域の防災マップの作製を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策につなげる。

7 災害派遣にかかる活動紹介（約30分～）

日赤鳥取県支部の救護員が東日本大震災や令和6年能登半島地震など、今までの災害派遣の体験談を紹介する。

必要なカリキュラムを選択・組み合わせて実施

地域住民の
防災・減災に関する
知識・意識・技術の
普及向上

地域における
災害発生時の
応急対応にあたる
リーダー層の育成

紹介動画はこちら⇒
(Youtube)

